

新たな「京都市動物園構想」（案）パブリックコメント結果（要旨）

1. 京都市動物園理念又は行動指針について

番号	内容	分類	柱	施策	御意見に対する考え方
1	いのちまつわる社会的使命にかじを切った改革という印象であり、その方向性は支持したい。京都市動物園の趣旨や方針が分かるようにした方がより子供と一緒に訪問したくなる。	京都市動物園理念	-	-	今後より一層、いのちの大切さを学ぶことのできる場所として社会的役割を果たすため、理念と行動指針を基に、各柱に基づく取組をしっかりと進めてまいります。
2	動物園はこうあるべきだと固定概念に囚われずに、斬新なアイデアを取り入れて、アトラクション施設やアミューズメント的なものとは一線を画する動物園を目指してほしい。	京都市動物園理念	-	-	
3	人間が自然界の一員であることを、動物の幸せそうな表情に癒されながら感じた。いのちを繋ぎ、いのちが輝く動物園…このタイトルはすばらしいと思うと同時に、京都市動物園の文化的な質の高さを感じた。	京都市動物園理念	-	-	
4	最初に見た、「いのちをつなぎ、いのちが輝く動物園」というのにとでも惹かれた。	京都市動物園理念、行動指針	-	-	
5	「域外保全」、「域内保全」という言葉が学術的かつ専門的で動物園が学術機関か研究施設の一分野のごとく感じられ、動物園が市民とは遠い存在にあるように受け取れる。「種の保存」や「動物福祉」の概念が具体的に動物園を身近で楽しい場所であることを実感するのどう直接関係するのか分からない。	京都市動物園理念、行動指針	-	-	
6	研究と教育という動物園の本来の目的があるにも関わらず、日本の動物園では、なかなか実践できている動物園がない。このような中、京都市動物園の研究と教育の実践はすばらしいと思う。新たな構想でも、この分野を進めていくことが位置付けられており、京都市民として誇らしく感じる。	京都市動物園理念、行動指針	-	-	
7	「動物多様性」、「種の保存」、「動物福祉」等といった高尚な概念は研究機関や研究者に任せるべきで、動物園のすることではない。限られた動物園の予算を絵空事のプランのために使うのは浪費でしかない。	京都市動物園理念、行動指針	-	-	
8	京都市動物園には小さい頃、よく親に連れてきてもらいました。行動指針を読んで、動物園にいる動物達にも元々の動物としての暮らしがあること、そして、命の大切さを再認識させられました。大学生になり京都市で一人暮らしをしているので、また訪れたいと思いました。	行動指針	-	-	
9	「種の保存」や「動物福祉」をキーワードに動物園の役割の多様化の可能性を見出したことは大変意義のあることだと思った。	済（役割）	-	-	

2. 5つの柱について

柱1 生物多様性の保全に力強く貢献し、日本をリードする動物園

番号	内容	分類	柱	施策	御意見に対する考え方
10	ライオンが現个体最後なのが残念だが仕方ないと感じた。	コレクションプラン	1	1	調整種であるライオンとアカゲザルについては、飼育スペースの確保や個体群の維持の困難さ等から、現个体を最後に飼育展示を中止します。
11	サル島が閉鎖されるのもとても寂しく感じる。たとえ飼育動物の種類や規模が小さくなったとしても、いつまでも子どもたちの心にインパクトを与えてくれる動物園であってほしい。	コレクションプラン	1	1	
12	調整種であるライオンがいなくなってしまうのは、動物園のカオだと思っていた。少し寂しい気持ちだが、ライオンの福祉のためにも必要だと感じた。それこそ、行動方針である②と③に合っていると思う。	コレクションプラン	1	1	
13	ライオンの飼育展示が終わるのはなんだか寂しい。代わりとなる大型の猛獣、肉食獣が増えたら面白そう。	コレクションプラン	1	1	
14	ライオンとアカゲザルの飼育をやめてほしくない。	コレクションプラン	1	1	
15	ライオンの展示は継続できるよう、スペースを確保すべきである。ライオンは、動物園構想のイラストにも載せているように動物園の「顔」というべき動物であり、入場者数にも影響を及ぼす。	コレクションプラン	1	1	
16	ライオンはコンクリートのバックヤードに移動になる個体も多い。そのような個体が少しでも外気を感じられ、一生を水飲み場もなかったコンクリートのバックヤードで終えることがないように、ライオンの飼育環境が向上するまで、行き場のないライオン達を受け入れていただきたい。ご検討の程、よろしくお願いたします。	コレクションプラン	1	1	
17	ライオンはいてほしい。トラも子供が三頭いたが減った。昔ヒグマがいたのに新しくなってからヒグマもいなくなった。なぜなのかな？ キリンもレッサーパンダも減ったことが寂しかった。	コレクションプラン	1	1	

18	ナイルについて、見るに堪えられない状態になれば展示を中止するとのことですが、ナイルにはゆっくと余生を過ごしてほしい。	コレクションプラン	1	1	調整種であるライオンとアカゲザルについては、飼育スペースの確保や個体群の維持の困難さ等から、現個体を最後に飼育展示を中止します。
19	ニュースでライオンの飼育を中止する事を検討しているを知った。施設の大きさや環境など、専門家の方がそう判断されたのなら、それが一番よいのでは。	コレクションプラン	1	1	
20	ライオンやトラなど、猛獣飼育の良い環境を日本全体で整備できないか。エンターテインメントでもあり、大事な教育や研究の場だと思う。各地が協力する形でいい方向に進まれることを期待。	コレクションプラン	1	1	
21	ライオンがいなくなるのは、寂しい。仕方ないこととは思いますが。	コレクションプラン	1	1	
22	京都市動物園の楽しく学ぶという、行動指針に共感。そこでたくさんの人に知ってもらうために、名古屋の東山動物園にいる鳴き声の面白いフクロウテナガザルやイケメンゴリラなどの、その動物園でしか見れない珍しい動物を取り入れてみる、という案を提案する。	コレクションプラン	1	1	
23	うさぎがいっぱいいる動物園がいい。	コレクションプラン	1	1	
24	京都の動物園は狭くて孫連れはとても助かる。パンダ等来たらもっと喜ぶと思う。	コレクションプラン	1	1	
25	鳥を中心にしてほしい。	コレクションプラン	1	1	
26	パンダが来たら動物園に行くきっかけとなる。	コレクションプラン	1	1	
27	カバが好きなので、出来れば繁殖してほしい。	コレクションプラン	1	1	
28	シロクマが見たい。	コレクションプラン	1	1	
29	ヤマアラシがほしい。 ヘビを多くして。特にコブラ。 昆虫の館がほしい。	コレクションプラン	1	1	
30	コビトカバとオカピが見てみたい。	コレクションプラン	1	1	
31	動物福祉という観点では致し方ないとのことであるが、「もうじゅうワールド」として整備されたので、今後も子供達はもちろん大人たちも魅了される”猛獣”を飼育していただきたい（非日常的な生き物がいてほしい）。	コレクションプラン	1	1	
32	個体維持や管理が困難な動物（調整種5種）に対して、現個体を最後に飼育展示を中止することは悲しいが、環境が整ったらまた色々な動物を展示してほしい。	コレクションプラン	1	1	
33	他の案としては希少な動物は今いる個体で最後ということらしいからそれに代わる珍しい動物、他の動物園にはいない動物を飼ってみたりして「京都市動物園ならではの」という特徴が必要。	コレクションプラン	1	1	
34	国内希少種の飼育をすることや、その繁殖に取り組んだり、動物の展示について配慮することで、今までにない動物園になり、今まであまり動物園に行かなかった人にも興味を持ってもらえるのではないかな。	コレクションプラン	1	1	
35	客を増やすには、話題性例えば、パンダなど悪く言えば客寄せに向いている動物を迎え入れるのは、いいことだと思う。	コレクションプラン	1	1	
36	動物の種類を色々増やしてほしい。	コレクションプラン	1	1	
37	珍しい動物を入れてほしい。	コレクションプラン	1	1	

38	オナガゴールは国内唯一の個体ならば、むしろ種の保存のため維持に取り組むべきである。	コレクションプラン	1	1	飼育動物種については、コレクションプランに記載のとおり、本園のこれまでの取組や実績、飼育状況に加え、動物福祉の観点、種の保存への貢献度、教育的価値、学術的価値、展示効果を指標にして選定してまいります。
39	聞いたことも見たこともないような、知名度の低い動物や稀少な動物も実際に見てみたいので、数の少ない動物の繁殖や、新たな動物の飼育展示なども頑張ってもらえると嬉しい。	コレクションプラン	1	1	
40	キリンを増やしてほしい。	コレクションプラン	1	1	
41	すごくキレイになっていいと思う。子どもはバンダ・シロクマが見たいと言っている。	コレクションプラン	1	1	
42	年に30回〜行っている。あともう少し動物（種類）が増えれば楽しいかなと思う。	コレクションプラン	1	1	
43	京都市動物園が提唱されるコレクションプランに全面的に賛成。このような構想、コレクションプランが全国にも広がって行きますように願っている。	コレクションプラン	1	1	今後コレクションプランに基づき、動物たちが生き生きと暮らせる持続可能な飼育展示が行えるよう取組を進めてまいります（持続的な飼育展示を進めるために必要不可欠な『国内外の動物園との連携』を施策1（新構想本冊8ページ）に追記いたします）。
44	昨今、ワシントン条約や動物の購入費の高騰を踏まえ、亡くなった動物の補充や動物たちの飼育環境も時代とともに変化、難しくなっている。そのため、他の動物園と協力、ネットワークを活用し動物達の最善な環境に整備していくためにコレクションプランは必要だと思う。	コレクションプラン	1	1	
45	動物にとってストレスのかかる環境や繁殖はできるだけ改善し、無理があるなら頭数を増やす必要はない。	コレクションプラン	1	1	
46	動物たちが生き生きと活動できるよう、無理のない飼育種・数・展示方法とし、ここでしか味わえない感動できる動物園をこれからも目指していただきたい。	コレクションプラン	1	1	
47	もうじゅうエリアは狭い範囲に大型のネコ科が多数いて迫力がある反面『こんなにいるか?』と思った。サファリパークのような広さがない中で多種多様、生息環境がまるで異なる動物を入場者数、料金、動物福祉のバランスを取りながら飼育していくのは至難の業だと思う。これからも随時見直しを行ってより市民が楽しめ、かつ動物にも優しい園にしていっていただくことを願っている。	コレクションプラン	1	1	
48	動物福祉と生態環境の維持という難しいバランスの調整のなかで、このような態度表明を市民に公開されたこと、すばらしい取組のように思う。	コレクションプラン	1	1	
49	京都市動物園から他の動物園に出す際、QOL（生活環境の質）が下がるのが明白な動物園には出してほしくありません。	コレクションプラン	1	1	
50	十分なスペースが確保できていないアムールトラ、ジャガーやニホンツキノワグマなどの大型肉食獣やアメリカバクなどの飼育からは撤退してほしい。京都は海外の来園者の方も多し、現況では動物福祉の観点から特に批判の対象になりやすいと思う。	コレクションプラン	1	1	
51	今後の希少種の動物を維持していくことはますます難しくなっている。一つの考え方が、動物園ごとに重点を置く地域を定める、総合的に繁殖を管理する拠点となる動物園を作るなどを検討してみてもどうか。	コレクションプラン	1	1	
52	「動物の福祉に配慮し、いのちを輝かせる飼育・展示を行います。」という一文を、京都市動物園で飼育している間だけではなく、他所に出す個体にも当てはめていただきたい。	動物福祉	1	1	
53	京都市動物園は、全ての種、全ての個体に優しい動物園であってほしい。	動物福祉	1	1	
54	普通に生活していて、世界の奥地や珍しい動物を身近に見られる動物園にこれからもたくさんの方が訪れて、私達のために遠く離れた場所から連れて来られた動物達が幸せに暮らせる様になってほしい。	動物福祉	1	1	
55	新しくなった動物園に行っていないので、一度動物達の顔を見に行きたいと思う。最近思うのは、高齢になった動物達はどうか余生を過ごしているのかということだ。以前とは違い、食物もよい物になっているが、体感温度の充実がどうなっているのかと思う。この世に生命を授かって大切に育てていただきたいと思うし、私達も共に生きているので、考えていかなければいけないと思う。	動物福祉	1	1	
56	動物達が幸せに暮らせたらいいと思う。	動物福祉	1	1	
57	ヤブイヌ（メス）が亡くなったニュースを見た。これからも動物たちがより自然な環境で元気に生きられるようにしてほしい。	動物福祉	1	1	

58	来園者ではなく動物園なので動物メインで考えていただきたい。動物が人から離れられる場所もしくは隠れられる場所、例えば、高い場所、樹木、樹の囲いの様なもの等々が必要。	動物福祉	1	1	今後より一層、高齢個体も含めて本園の全ての動物たちが幸せに暮らせるよう、動物福祉に基づいた取組を進めてまいります。
59	ツキノワグマの常同行動が最近時間が延びたように感じる。動物園で飼育されているツキノワグマは登れる木があると落ち着くので、登れる木が必要だと聞いた事がある。	動物福祉	1	1	
60	熱帯動物館においては来園者の出す騒音（大きな靴の音、話し声や歓声等）が館内に反響しており、中に居る動物たちのストレスはいかなるものかと心配になる。できれば注意喚起の掲示などの対策を検討してほしい。	動物福祉	1	1	
61	アカゲザルの撤退はやはり寂しい限りであるが、現在の個体たちにはできる限りのケアしていただき、イソコのように皆が長生きしてほしい。	動物福祉	1	1	
62	京都市動物園コレクションプラン、調整種5種について、人気のある動物の飼育展示は来場されたお客さんも喜び、楽しみにされておられることと思うが、高齢になり元気な姿でいれなくなったり、加齢による健康上の不安が出始めた動物の飼育展示はその動物の健康状態や様子を見ながら展示時間を短くしたり、中止して治療、看護しなければならない。	動物福祉	1	1	
63	アカゲザルも老猿になると素早い動きや運動能力に衰えが始め老猿ホールなる別のサル舎で過ごしているが、アカゲザルなど群れで生活する動物の中で高齢になったり、けがや病気をし、他の仲間と行動を共にできなくなったら一時保護や保護も必要。	動物福祉	1	1	
64	出産についてヤブイヌ母子の死、妊娠中や産後にエコーなどで母胎を確認できないものか。あまりにも可哀想な亡くなり方でした。公務員なので規則はあるかと思いますが、動物の出産や産後、病気の場合は特例として夜間勤務による動物サポートができる取組も検討してほしい。生まれてくる命、いまある命を守るためにも。	動物福祉	1	1	
65	動物の移動について他園への移動は繁殖など仕方がないことだが、移動先の飼育環境などを調べ、移動させる動物が安心して暮らせるように最後まで責任を持っていただきたい。	動物福祉	1	1	
66	動物福祉の観点から、新たな飼育を打ち切る決断はすばらしいと思う。限られたスペースとはいえ、単体で飼育をされている動物は、刺激が少なく、いつ来園しても同じ行動ばかりしているのは哀れに思える。	動物福祉	1	1	
67	NHKのニュースを拝見しました。人気のライオンがいなくなるのはとても寂しい。本来の野生の環境とはかけ離れた部屋で生きていくのは、どう考えても、ライオンにとって、良くないこと。これからも、動物の幸せを考えた取組を進めてほしい。	動物福祉	1	1	
68	市民の意見も聞きながらコレクションプランを策定しようとする姿勢に賛同。動物福祉に考慮しつつ飼育方針を決めることは、難しい面もあると思うが、生き生きとした動物に会うことのできる動物園であり続けてほしい。	動物福祉	1	1	
69	環境破壊によって動物たちも大いなる迷惑。それどころか、絶滅の危機に遭っている。人が壊したものは人が元に戻す。これからもそのことは考えて行動して行くべきだと思う。今後の京都市動物園に期待！！	希少種の保全	1	2,3	今後も引き続き国内外の動物園と連携を深め、動物園の重要な役割である種の保存に貢献できるよう、取組を進めてまいります。
70	希少種である動物の繁殖を積極的に取り組んで絶滅を防ぐというのはとてもすばらしいことだと思った。	希少種の保全	1	2,3	
71	研究機能を重視して、柱1を中心に、国内外の希少種の保全に、京都市域全体を見通して活動してほしい。	希少種の保全	1	2,3	
72	種の保存の政策には大賛成。	希少種の保全	1	2,3	
73	絶滅危惧種のヤマネコの繁殖に成功する。	希少種の保全	1	2,3	
74	今の制度でよいと思う。世界との連携を進めてほしい。	希少種の保全	1	2,3	

柱2 野生動物の行動や生態、福祉を研究する世界水準の動物園

番号	内容	分類	柱	施策	御意見に対する考え方
75	様々な人が支えている動物園であることが分かった。日本の中で外国人にも人気の地である京都において生物保全に貢献したり、動物福祉の研究などを行い日本をリードする世界水準の動物園を目指すというところがよいと思った。	動物福祉の研究	2	4	動物の福祉についての研究に力を入れて取り組み、持続可能な飼育展示に活かせるよう研究を進めてまいります。

76	まだまだ生態が解明できていなかったり、生息域が減っている日本産の小型哺乳類や鳥類、爬虫類、両生類の飼育・繁殖・研究に力を入れていただきたい。	動物福祉の研究	2	4	動物の福祉についての研究に力を入れて取り組み、持続可能な飼育展示に活かせるよう研究を進めてまいります。
77	野生動物の生態、福祉また動物の健康まで研究しているという点はとてもよい点であり、これからもより動物の健康に対して励んでほしいと考える。動物の健康を強化することで来場者にまた違う楽しさを与えることができる。それによって動物園の経営も潤い、市に回るお金が増えることもあるのではないだろうか。	動物福祉の研究	2	4	
78	研究機関としての役割・機能強化 例えば、京都大学の教員の方が常駐とされているが、どんな研究をしているのか成果として記載すればよいと思う。	動物福祉の研究	2	4	
79	コレクションプランについても、研究者目線で選定され、市民感覚とは相容れない印象があり、家族が動物園に行って楽しい場所を感じるのとは関係ないものと思った。動物園という「非日常的な場所」をキーコンセプトにして、そこにおいて動物達がどのように生活しているのかを具体的（食べ物好みや習性、他の動物との相性等）に市民に提供し、動物園に行くことによって動物達と人間の共通点や相違点を肌で感じ、驚きと楽しみを味わえる非日常的な場所を提供することをメインターゲットとして、それを京都市動物園構想に盛り込んでいただきたい。	動物の社会から人間について学ぶ視点	2	5	
80	サル島が人間社会と同じような社会を感じる人が多い（こちらは普段忘れてしまっている）。のんびりした空間のエリアは経営上、難しいか。	動物の社会から人間について学ぶ視点	2	5	
81	「人間」も動物のひとつととらえ、感じるブースがあると楽しいかも。	動物の社会から人間について学ぶ視点	2	5	動物の社会から人間について学ぶという視点取り入れた飼育展示又はプログラムの実施を進めてまいります。
82	類人猿の訓練（研究）成果を見せる（計算など）場がほしい。	動物の社会から人間について学ぶ視点	2	5	
83	大学とも連携しているということで、研究から学びの場としてももっと広まってほしい。	学術機関との連携	2	7	
84	ゴリラの知性の研究については京都大学が霊長類の研究で有名と聞いているので、産官学と連携・協力して研究していくべき。	学術機関との連携	2	7	今後も学術機関との連携を進め研究・教育普及活動を進めてまいります。
85	柱1に「飼育動物の心理的幸福」とあるが、違和感を覚えた。これはどういう状態なら「幸福」で、どういった方法でそれを確認し、評価することになるのか、何か基準があるのか？ 構想を策定される際は、そのあたりも記載していただければよいのでは。	学術機関との連携	2	8	

柱3 文化教育施設として日本国内のオンリーワンを目指す動物園

番号	内容	分類	柱	施策	御意見に対する考え方
86	環境破壊という地球の課題に寄り添い、動物園という注目される場で向き合うことは、小さい子から大人までそれについて考える第一歩になり、とてもよいと思った。	環境教育	3	9	生きた動物と出会う場という特徴を活かし、生物多様性や環境問題の啓発を通じて、自然と人を繋げる架け橋となるよう今後も取組を進めてまいります。（『実際に生きている動物を見て深く学べるという利点を活かし』、『子どもからお年寄りまで幅広い世代が学べる生涯学習の促進』を施策9（新構想本冊18ページ）に追記いたします）。
87	外国人観光客が急増していることから外国人にも分かりやすい京都と動物の関係性を伝えていくことも重要だと思う。	環境教育	3	9	
88	身近に一緒に生きてきた動物への共生の意識を高めることが未来型動物園だと考える。命の大切さという以前に暖かさや命に支えられていることを体感できる園。動物愛護センターとの強い繋がりを求める。	環境教育	3	9	
89	国内外の動植物の保全や保護に関して「気軽に参加する場」があれば、それがたとえ小さなことでも「自分も何かできるのではないか」という希望となり、そのことが次の行動へと繋がるのではないかと。	環境教育	3	9	
90	動物園に行くと、生きる、死ぬ、命をつなぐ、大切さをもっと若いころに気付くべき。飼育員は動物たちとセットで大事な存在、として子どもたちに知ってほしい。	環境教育	3	9	
91	市民や子供に保全や福祉について知ってもらうには、動物の素晴らしさだけでなく目を背けたくなるような事実も伝える必要がある。	環境教育	3	9	
92	高齢動物を大事に飼育して、それを来園者に見せるのは大切な事だと思う。高齢動物が観覧できないということは命の尊さを教える大きな機会をひとつ失うことになる。	環境教育	3	9	

93	花博にあった野生動物の群れや生態を体感できるシアターの設置でライオンやシマウマなど地球規模の共生を立体映像と匂いと座席に振動を感じる装置を。人間が奢ることは地球全体の危機と体感したい。	環境教育	3	9	
94	知識だけではなく動物や自然をすばらしく感じる心や、人と自然や社会との繋がりについて考える心も育てられると思うと同時に、野生動物や環境の保全だけでなく飼育動物の福祉にも繋がり、動物園が人と自然を繋げる架け橋になるのではないかと思います。	環境教育	3	9	
95	動物園などの野生動物を飼育している施設が人と自然を繋げる窓であるならば、知識と共に保全や保護との関わり方をもっと伝える必要がある。	環境教育	3	9	生きた動物と出会う場という特徴を活かし、生物多様性や環境問題の啓発を通じて、自然と人を繋げる架け橋となるよう今後も取組を進めてまいります（『実際に生きている動物を見て深く学べるという利点を活かし』、『子どもからお年寄りまで幅広い世代が学べる生涯学習の促進』を施策9（新構想本冊18ページ）に追記いたします）。
96	動物愛護の取組で、京都動物愛護センターと何か共同でできないのか。	環境教育	3	9	
97	国内外の動植物や環境を守る保全、保護団体は数多くある。しかし助けたいと思った時にどの団体を支援すればよいのか、今現在どのような事が行われているのか知るためには多くの情報を精査しなくてはなりません。そのことが人々の大きな障壁となっている様に思う。	環境教育	3	9	
98	両親祖父母が仕事で生まれた時から保育所、兄弟いとこなど親族は少なく近所で遊ぶことがほとんどない日本の未来の子たちにとって、保育園や学校だけでなく動物園や動物愛護センター、科学センターが学びの場となっていることに感謝。	環境教育	3	9	
99	この構想がSDGsのどれにあたるのか、裏表紙に記載されていない。これからも子供たちが喜ぶ動物園にしてほしい。	SDGs	3	9	
100	動物園でSDGsに触れていることなどから、ただ楽しむだけでなく、動物園に行くことを通して発展的に学習できるように仕向けられているのはすごくよいと思った。	SDGs	3	9	
101	大学との連携を取り入れて限定的なイベントの実施（例えば、園内スタンプラリーやお客様が比較的多く訪れる週末などに大学との連携によるクイズ会を昼頃のイベントとして実施、限定グッズなどの景品賞あり）などを行ってみるのもどうなのかと私自身大学の講義でこの内容が取り上げられていたので。	大学との連携	3	9	大学のまち京都の特徴を活かし大学と連携したイベントの実施等を進めてまいります。
102	動物園、植物園、水族館、青少年科学センターで連携し、多くの人に学ぶ機会が設けられている、より一層身近で訪れやすい場所になっていけばいいと思う。	4 園館連携	3	10	
103	柱3の「4園館連携を進め市民の皆様楽しく学ぶ機会を広く提供します。」、柱4の動物園ツアーや柱5の近くで楽しい動物園など自分が昔動物が好きで、動物園によく行っていたから身近に好きなものが存在するという政策はすばらしいと思った。自分の好きなものにツアーなどで触れることができて良かった。	4 園館連携	3	10	今後より一層4園館連携を推進し、生物多様性を学ぶ機会を広く提供してまいります。
104	柱5「近くで楽しい動物園の更なる発展、環境に配慮したエコ・ZOO」の取り組みについて、京都市動物園では京都府立植物園と協力し、植物園で出た剪定作業による樹木の枝や幹、葉も動物園のゾウやキリンの餌にし、ゾウやシマウマのふんを堆肥にし、植物園で利用する取組が行われているとのことで、不要物を破棄せず有効利用していると感心している。	植物園との連携	3	11	今後とも引き続き動物の糞を原料とした肥料の提供等、植物園と協力した取組を進めてまいります。
105	植生を工夫するなど余地はまだあると思う。（府立植物園と連携しても面白いのではないかな。）	植物園との連携	3	11	
106	文化教育施設として、学ぶ機会が増えたり、いろんなことを経験したりできたら楽しそう。そうなれば、最近全然行ってなかったこともあり、行ってみたい気持ちが強くなった。	文化の発信	3	13	今後とも芸術系大学との連携等、文化教育施設として文化の発信に取り組んでまいります。

107	動物について研究している大学などの機関との連携はもちろんだが、京都市には芸術大学も多くあるので、動物園にアートを取り入れてみるのはいかがか。動物園は檻に囲まれているところが水族館に比べ多いので、殺風景なイメージが強い。子どもの頃以来動物園に行っていない者からすれば、そういった雰囲気の中で行こうと思わないこともあるので、アートを取り入れ華やかにし、様々な年齢層の客を取り込む。単に期間限定のイベントとしてやるのではなく、園の設備をアートというコンセプトで整備する。	文化の発信	3	13	今後とも芸術系大学との連携等、文化教育施設として文化の発信に取り組んでまいります。
108	京都大学や市立芸大などとプロジェクトを共に進めるのであれば、せっかくなら京都市内の小中学校など教育機関とも繋がりを持ち新たなプロジェクトをより多くの子供達や地域の人と進めて世界に誇れる動物園を目指してはどうかと思った。	学校教育への活用	3	15	
109	動物を飼育して、ただ来場者に“見ること”を楽しんでもらうという受け身の姿勢ではなく、“感じること”や、“学ぶこと”を誘発するように、積極的な姿勢で来場者を取り巻くようにして、様々な面でリードしていることにとても感心。	学校教育への活用	3	15	
110	動物の命について子どもにいろいろと勉強して頂く場所にしていただきたい。学校教育とともに。	学校教育への活用	3	15	本物の動物と身近に出会えるという特徴を活かし、主体的に学びを得るという視点を取り入れながら、学校教育の素材としての活用を推進してまいります。
111	「環境教育の拠点として」幼小中、義務教育世代を中心に、学校教育との密な連携をして、本物にふれる（身近に）教育を学校教育現場に積極的に提供いただきたい。単なる課外遠足の域を超えた環境教育プログラム化を期待。	学校教育への活用	3	15	
112	小さな子どもや中学生ぐらいまでの子たちが命が生まれ亡くなるまでや世話や介護など、生き物は元気な置物ではなく生み育て愛に満ち溢れた存在であり必死に生を全うするという厳しさにも果敢にも挑む尊ぶべき存在ということまではせめて学んでほしい。	学校教育への活用	3	15	

柱4 多くの人が集い、多くの学びを広げる動物園

番号	内容	分類	柱	施策	御意見に対する考え方
113	観光都市で、中でも緑の多い岡崎地域にあることも、他の動物園と差別化を図れる大きな魅力だと思う。	岡崎活性化	4	16	
114	京都の歴史のすばらしさを伝えるためには、動物園の構内に八角九重塔の建物を復元することが望ましい。建物自体の復元は難しいのでせめて塔の基壇だけでも可視化する形で復元するべきである。それが実現するならば、京都市動物園には歴史遺産の顕彰という新たな魅力が加わる。	岡崎の歴史	4	16	今後ともより一層、岡崎地域に立地している地理的環境を活かし、岡崎についての情報発信を高めるとともに、夜間開園等、他施設と連携したイベントを進めてまいります。
115	夜間がすごく楽しかった。また年寄りグループでいきたいと思う。	夜間開園	4	16	
116	ナイトツアーを希望する。	夜間開園	4	16	
117	外国人観光客が急増していることから外国人にも分かりやすい京都と動物の関係性を伝えていくことも重要だと思う。	インバウンド	4	17	多言語化等、外国人観光客の利便性が高まるよう取組を進めてまいります。
118	多言語化を行うことにより様々な国の人が動物園に足を運びやすくなり、楽しめると考える。	インバウンド	4	17	
119	特にこれといって不満はない。ショーやえさやりなどネットで検索しやすい様にしてほしい。	H P	4	19	
120	「ホームページの改善」について、現在の京都市動物園のホームページは、単に飼育動物の紹介や園内の紹介だけであまりにもつまらない！理想を言えば、京都市動物園で飼育されている動物については、京都市動物園のホームページを見たら、詳細に知ることができる、分からない事があつたら京都市動物園のホームページを見ようと言われるくらいのクオリティがほしい。	H P	4	19	利便性の高いホームページとなるよう検討を進めてまいります。
121	幼児が楽しいイベントがあれば助かる。	情報発信	4	19	
122	柱4の多くの人が集い、多くの学びを広げる動物園について。SNSで国内だけでなく、海外の人たちにも来てもらえるようなイベントもあっていいと思った。	情報発信	4	19	多くの方に御来園いただけるように、引き続きイベント情報等積極的な情報発信に取り組んでまいります。
123	ふれあうイベントの周知がより高ければ更なる集客力が望めると思います。口コミ情報からでないで得られなければ、動物の魅力の発信が十分できないように考えます。	情報発信	4	19	

124	亡くなった動物の報告を園の掲示板やHPでひっそりとするだけでなく、ツイッターなどのSNSでもやってほしい。	情報発信	4	19	多くの方に御来園いただけるように、引き続きイベント情報等積極的な情報発信に取り組んでまいります。
125	広報活動に関しましても、Twitterだけでなく、TV取材など多くの人の目に止まるような要素を取り入れれば客数が伸びて、その他の行動指針にかかるであろう資金に手が回しやすくなり、行動指針の実現化に近づくのではないだろうか。	情報発信	4	19	
126	阪急の駅などポスターやパンフレットを置いていただけるともっと多く行こうという気になる。経費はかかるが啓発活動を。	情報発信	4	19	
127	私は柱4の中の動物園に関する様々な情報を多くの方々に分かりやすく伝えるため、広報媒体を有効に活用し、効果的に広報活動を展開しますというところがよいと思います。NEWSが広まることで動物園の良さが伝わるからです。	情報発信	4	19	動物園の潜在的な魅力をもっと分かりやすく伝えるため、PR力の向上に努め、集客に繋げてまいります。
128	どのような工夫をしたら、より多くのお客様に来てもらえるかが1番大切だと考えた。そこで、限定するのではなく、幅広く誰でも来れる場を作るべきだと思った。	情報発信	4	19	
129	動物園は1回行ったらいいかんと思ってしまうためまた来たいと思うようなものがほしい。	情報発信	4	19	
130	また「お勉強」の直前に「お話」をするなど京都市動物園でしか見られない「サルのお勉強」を盛り上げるようなスケジュールにしてほしい。京都市動物園の強みはなにか、考えてPRすべき。	情報発信	4	19	
131	ただ動物を展示するだけでなく、種の保存や動物福祉など、様々な取組をしていることをもっとアピールすべき。あまり周知されておらず、浸透していない印象。もっと効率よく効果的に発信するために、専門性の高い企業に広報委託をしてはどうか。	情報発信	4	19	
132	各飼育員のブログも近況が分かりとても楽しく、特にゴリラの飼育員のブログは、ゴリラについて1番身近な人の話が聞けるのでどんな本よりも勉強になるブログである。それは人々が動物を学び、海外の自然環境の保護に繋がると思う。京都市動物園はこれからもニシゴリラを大切に世界に発信し続けてほしい。	情報発信	4	19	
133	飼育員さんと動物のブログを見たい。	情報発信	4	19	
134	柱4の多くの人が集い、多くの学びを広げる動物園についてとても良い方針であると感じた。なぜなら京都のすばらしい環境を活かすことにより、京都の魅力が多くの人に伝わるのではないかと感じたからである。	情報発信	4	19	
135	2025年には大阪万博が開催され、そのテーマが（人間の）いのちなので、動物のいのちはどうなのかと連動する取組があっても面白いのでは。	情報発信	4	19	
136	せっかくなので構想がHPであがるだけでなく、この構想そのものをもっと市民に知っていただくアクションがあったほうが応援団が増えてよかったのではないかとと思うと少しもったいなくも思う。	情報発信	4	19	

柱5 「近くて楽しい動物園」の更なる発展

番号	内容	分類	柱	施策	御意見に対する考え方
137	太陽光発電はよい取り組みなので、引き続き取り組んでほしい。	エコの取組	5	20	種の保存、環境教育に取り組む施設としての役割を果たすため、今後より一層、環境に配慮した取組を進めてまいります。
138	東エントランスのフードコートの使い捨てプラスチックの廃止。フードコート自体重要視していないのならばいいのではないかと感じた。	エコの取組	5	20	
139	環境に配慮した取組を継続していただきたいと思う。環境に配慮した取組を今後も公表、実施する事で市民の食品ロス防止、削減への取組、ごみ減量推進に何からの形で結びつけて行くことを考えたい。	エコの取組	5	20	
140	楽しく、動物が自然な姿で動いているように。	展示手法	5	20	できる限り動物達の自然な姿を観察できるように、展示手法を検討してまいります。
141	特に展示方法は自然界のそれとは大きくかけ離れたものになっているのではないかと。	展示手法	5	20	

142	「混合展示」について、実際の野生では、動物達が単独種だけで暮らしている事はないし、動物達も刺激があってよいと思う。	展示手法	5	20	できる限り動物達の自然な姿を観察できるように、展示手法を検討してまいります（『時代に即した展示技術の工夫及び動物の生態や解説の充実』を施策20（新構想本冊30ページ）に追記いたします）。
143	「近くて楽しい動物園」として発展するために、現代的な展示手法、動物福祉の考え方を取り入れた飼育、展示施設の充実が必要。	展示手法	5	20	
144	動物の生態に近い状態で動物の自然な様子を観察できるのはよい。陸の動物も海の動物もいっしょに見れるようにしてほしい。	展示手法	5	20	
145	檻の網目の影響が気になるのは、ほかの放飼場の周囲が比較的に見通しが良く開放感がある中で、ポツンと檻だけがあると、外から見ていても閉塞感を感じる。	展示手法	5	20	動物達の様子をより身近に、楽しく観察できるように、展示手法を検討してまいります。
146	ドローンを使ってもっと近くで動物を見たい。	展示手法	5	20	
147	ホッキョクグマの檻の中の地上に、半円形の透明な出っ張りがあり、人間がそこから顔を出して、間近にホッキョクグマが見られる、一方、ホッキョクグマは、捕食動物かもしれないと興味を示して、その人間がのぞいている半透明の出っ張りにやってくるというのを見た事があるが、京都市動物園でも、そのような展示方法の工夫がほしい。	展示手法	5	20	
148	一つの動物が一つのオリに入っていることが多いと思うが、一つのオリの中に複数の動物が入っていて、生活している姿が見たい。	展示手法	5	20	
149	敷地が限られているので高さを活かした展示を活用するのはどうか。ゴリラも2階で見たい。	展示手法	5	20	
150	カバの水中カメラをつけてもぐっている様子が見られると大きさが分かって面白い。	展示手法	5	20	
151	・金網ではなく、ガラスがいい ・動物ともっと近づきたい（接したい） ・カバをもっと見たい（地下通路をつくれればどうか、カバが水で泳ぐ姿が見えたらよい、水につかってじっとしてばかりでつまらない）。 ・例えばペンギン舎では背が低い人が見えにくいので、泳いでいるのが見えるように台を設置する、あるいは下の方もガラス張りがよいのでは。	展示手法	5	20	
152	最優先種のイチモンジタナゴを地味な場所に置いておくのではなく、もっと利用者の目に留まるようにしてほしい。	展示手法	5	20	
153	写真を撮るのに金網が邪魔になる。写真撮影用の小窓（広めの網目）などをつくっていただくと嬉しい。	展示手法	5	20	
154	フクロウたちがいつも巣箱にいる。鳥は高いところが好きなので、人が高いところに行くか、もしくは地面を下げるとよいのでは。	展示手法	5	20	
155	ペンギンが奥の陸地に居がちなため、陸地エリアを手前にも作る。	展示手法	5	20	
156	大きな画面などで（家庭では味わえない迫力で）飼育できない動物を等身大サイズなどで見れるようなデジタル展示を検討してほしい。同時に過去に京都市動物園にいた動物たちの生態もアーカイブとしてそこで見られるといい。	展示手法	5	20	
157	子どもたちが大変お世話になっている。いつも何う度に楽しい気持ちにさせて頂いてる。今後の動物園に望むのは、もっと身近に動物を感じたいということ。	展示手法	5	20	
158	特にアムールトラの斬新な展示、京都の動物エリア、キリンとシマウマの共存など、限られた敷地で見やすく、動物の魅力を活かしていると思う。	展示手法	5	20	
159	リニューアルする前の動物園も知っているが綺麗になって動物が見やすくなったと思う。個人的には写真が好きなので写真がとりやすいような見せ方にしていただければありがたい。	展示手法	5	20	

160	今みたいにいるんな見せ方で見せてもらえるのがよいと思う。大人も子どもも楽しめて勉強になる施設のままであってほしい。	展示手法	5	20	動物達の様子をより身近に、楽しく観察できるよう、展示手法を検討してまいります。
161	身近で生態が見られて、明るい園内であればと思う。	展示手法	5	20	
162	何より動物を大切に作る動物園ということを理解してもらいたいと思う。	動物の解説	5	20	動物の解説の充実について新たに記載します（『時代に即した展示技術の工夫及び動物の生態や解説の充実』を施策20（新構想本冊30ページ）に追記いたします）。
163	生まれてから成長の過程もずっと見ていけるような動物園。動物との距離が近い動物園。	動物の解説	5	20	
164	一般であり知られていない動物の豆知識なども挙げて、興味を持ってもらうのもいいなと思った。	動物の解説	5	20	
165	動物園は、動物の生態を知るだけの施設ではなく、好きだと思っっている動物を単純に見て、身近に感じることができる場所であってほしい。ライオンやアカゲザルは知っている人も多く、たくさん来た人たちを楽しませることができる動物たちだと思ふ。	動物の解説	5	20	
166	動物園スタッフの入園者に対する挨拶・フレンドリーな対応がほしい。職員・スタッフの方に対して「接遇」の講習会をされると入園者に対する意識が変わる。せめて「こんにちは」と挨拶をする習慣をつけてほしい。	ホスピタリティ	5	21	
167	入口に動物の本がたくさんおいてある所が大好き。今後のより一層の発展を期待。	ホスピタリティ	5	21	来園者の方々に満足いただけるよう、引き続きホスピタリティの向上に努めてまいります。
168	イベント時などでは出席者に対する対応はすばらしいです。	ホスピタリティ	5	21	
169	様々な年代の来園を促すため、ユニバーサルデザインを進める。	ユニバーサルデザイン	5	21	
170	より多くのお客様を集めるには点字ブロックなどの障害を持った人に対する工夫、（ユニバーサルデザイン）は必要だと思う。京都市動物園はその点工夫されていると思うが、やはり一般客に対しての工夫がなければ入園者は増えないと思う。	ユニバーサルデザイン	5	21	老若男女、障害をお持ちの方全ての方が不便なく利用いただけるよう、ユニバーサルデザインを進めてまいります。
171	視覚障害者や、聴覚障害者もより楽しめるような取り組みが必要だと思う。また、園内のバリアフリー化も充実させたほうがいい。	ユニバーサルデザイン	5	21	
172	自分が子どもの頃から行っているが、今はとてもきれいになり休憩所も増え、においも気にならずに、子どももよく行きたいと言っている。	ユニバーサルデザイン	5	21	
173	日除けのある場所で一休みしたい。	ユニバーサルデザイン	5	21	
174	老人が楽に見て回れる車のような移動手段を用意して頂くと嬉しい。楽になる休憩場所を細やかに作ってほしい。	ユニバーサルデザイン	5	21	
175	小さな子どもからお年寄りまで楽しめる安全で楽しい動物園にしてもらえるようお願いしたい。	ユニバーサルデザイン	5	21	
176	子どもに優しい動物園作りをしてほしい。	ユニバーサルデザイン	5	21	
177	ベビーカーからでも周回しやすい様に導線、休日の混雑時などは誘導など動きやすい様にしてほしい。	ユニバーサルデザイン	5	21	
178	ライオン好き。子ども（幼児）と一緒に行ってちょうどよいので、年パスを買ってよく行っていた。規模がほどよく大好き。雨の日は大変なので、雨でも動物が見られるよう、屋根が増えると助かる。	ユニバーサルデザイン	5	21	
179	園内はもちろん、入口周辺に灰皿や喫煙所は置かず、敷地内全面禁煙の必要がある。受動喫煙は、子どもたちだけでなく、大人たちにも、動物たちにも危害を及ぼす。2020年4月からの改正健康増進法の全面施行に伴い、その趣旨に添い、園内のレストラン・休憩所なども含め、徹底をお願いしたい。	ユニバーサルデザイン	5	21	
180	身近に接せられるような場所。子どもを安心して遊ばせる場所。	ユニバーサルデザイン	5	21	

181	私の子どもの頃に比べずいぶんキレイで身近に動物を見ることができるところになった、工夫も感じられた。	ユニバーサルデザイン	5	21	老若男女、障害をお持ちの方全ての方々が不便なく利用いただけるよう、ユニバーサルデザインを進めてまいります。
182	道・通路がいくつか暗かった。電気（街灯）がほしい。	利便性	5	21	来園者が不便なく園内で過ごしていただけるよう、今後とも利便性の向上に努めてまいります。
183	駐車場がないのはどうにかできないか。	利便性	5	21	
184	食事スペースをもっと広くしてほしい。	利便性	5	21	
185	家族連れが多く、ベビーカーがあらゆるとこに置きっぱなし状態です。ベビーカーが通行の邪魔になったり、引っ掛かりなど怪我をする可能性がある。ベビーカーの置き場所、またはベビーカーの使用について安全面を確認していただきたい。	利便性	5	21	
186	先日車を使わずバスで行ったが、乗り継ぎを間違え、迷子になった上、地下鉄を利用した。例えば四条や五条、京都駅などからも、何番に乗り継げばいけるか例えればきりがありませんが乗り換え案内や行き方を少しでも例をあげホームページやチラシに載せる等、工夫していただきたい。	利便性	5	21	
187	トイレの混雑をなくしてほしい。 ご飯屋さんの待ち時間をなくしてほしい。	利便性	5	21	
188	もっとゴミ箱を増やしてほしい。なぜなら、ゴミ箱がなくて、ポイ捨てしたり、動物の方に投げるようなひどい人も中にはいるからである。	利便性	5	21	
189	駐輪場の拡充。年間パスポート継続の割引。HPで混み具合の情報提供。	利便性	5	21	
190	市民向けに安価な年間パスポートを設定してほしい。 駅から動物園方面への直行バスを運行してほしい。	利便性	5	21	
191	コインロッカー等あれば荷物軽くまわって嬉しいです。	利便性	5	21	
192	横浜の動物園のように無料にしてほしい。	利便性	5	21	
193	「動物との撮影会開催等」について、動物園は、単なる見学の人達だけが訪れるわけではなく、プロ・アマチュアの動物写真家なども訪れるので、動物との撮影会や当該動物が最もよく見える場所に撮影スポットを設置するとかの工夫があればいいと思う。	利便性	5	21	
194	小さい子連れとなると車利用が一番便利であり、気楽なのではないか。動物園には駐車場がなく、周辺駐車場はかなり金額も高い。そこで、子育て世代に限って定額の駐車場料金にしてはどうか。動物園窓口で母子手帳等とお子様連れであることを確認し、割引券を発行するなど検討していただきたい。	利便性	5	21	
195	近くにコンビニや園内に軽食が取れるところをつくってほしい。小学生まで無料にしてほしい。	利便性	5	21	
196	カサの貸し出しなどやさしい取組がたくさんで嬉しい。	利便性	5	21	
197	レストラン・フードコートを増やしてほしい。	利便性	5	21	
198	乳幼児でも自由に遊べるキッズスペースがほしい。動物のおもちゃつきのスペース。	遊園地・遊具	5	21	限られた敷地の中で展示施設とのバランスを考慮し検討を進めてまいります。
199	ゴリラの飼育展示の充実のために観覧車を撤去してスペースを確保したらいいのではないかと思います。	遊園地・遊具	5	21	
200	遊具を増やしてほしい。	遊園地・遊具	5	21	
201	遊園地よりもゆっくり遊べる遊具などがあればと思う。	遊園地・遊具	5	21	
202	子どもの遊具（豆自転車など）はなくてもよいと思う。	遊園地・遊具	5	21	
203	遊園地の規模を小さく遊具を設置してもらえればよい。	遊園地・遊具	5	21	
204	園内にある乗り物コーナーがあることで、滞在時間が長くなり、動物園に行った満足度も高くなっているが、更なる工夫ができると思う（少なくとも観覧車は不要、通りからの景観もよいものとは言えない）。	遊園地・遊具	5	21	
205	子どもたちと楽しく過ごせている。昔からの遊園地ぜひ残してほしい。	遊園地・遊具	5	21	

206	遊具の老朽化が気になるため、北山杉のアスレチックなど子どもの遊べるスペースにはいかがか。	遊園地・遊具	5	21	限られた敷地の中で展示施設とのバランスを考慮し検討を進めてまいります。
207	観覧車などが設置されているゾーンについて触れられていないようだが、何らかの評価と方針を構想に持っておく必要があるのではないか。	遊園地・遊具	5	21	
208	現在、様々なお土産が販売されているが、あまりにも子供向けのものが多いし、クオリティも高いとは言えない。もっと大人もこれがほしい！という思えるようなものや、京都市動物園限定のレアものなど目玉となるお土産がほしい（例えば、海洋堂のフィギュア専用コーナーみたいな物など）。	グッズ	5	22	引き続き魅力あるグッズの充実に努めてまいります。
209	グッズの小から大までそろえてください。	グッズ	5	22	
210	オリジナルグッズの充実！！ブランド化。ロゴのインパクトがもう少しほしい。	グッズ	5	22	
211	大人も子どもも楽しめる動物園になってほしい。	集客イベント	5	22	今後も引き続き、来園者が満足していただけるイベントを実施し、集客の向上に努めてまいります（『子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる体験型イベントの充実』を施策22（新構想本冊31ページ）に追記いたします）。
212	赤ちゃんからお年寄りまでが楽しめるイベントが充実するといいなあとと思う。いろんな世代でグループになって取り組むスタンプラリーや動物に関する歌や踊りを披露するイベント等あって、家族で見に来れるといろいろな世代（おじいちゃん、おばあちゃんと子ども含む）が集まり、命をつなぐ感じになると思う。	集客イベント	5	22	
213	京都市動物園が大好きなのもっとたくさんの人に好かれるようにキャンペーンなどを作ってほしい	集客イベント	5	22	
214	動物園デビューがまだなので、初めて行く赤ちゃんの日などのイベントがあればいいと思った。	集客イベント	5	22	
215	乳幼児には丁度いい大きさ（広さ）。小学・中学生も楽しめる企画がほしい。	集客イベント	5	22	
216	夜の動物園が好き。平日にも夜（夕方）のイベントがあったら学校帰り、仕事帰りに行けるので嬉しい（金曜とか）。	集客イベント	5	22	
217	子どもが好きなゲームやスタンプラリー等を企画していただき、何回も動物園に行きたくなるようにしてほしい。	集客イベント	5	22	
218	自分が子どもの頃、何回も行った。ゴリラの宗太郎を覚えている。今自分の子どもを2回連れていった。リニューアル後のゾウの温泉行きたい。何回もしてほしい。園長先生のお話が聞けるイベントをもっと増やしてほしい。	集客イベント	5	22	
219	民間とコラボして積極的なイベントも開催してほしい。	集客イベント	5	22	
220	ナイトツアーや夜のイベントを今後も開催してほしいです。	集客イベント	5	22	
221	動物園の入場料はいくらなのか？動物園はあまり行かないのでなんとも言えないが、においがきついイメージがある。今見てる感じだとかなり怖そうな動物が多いという印象を受けた。イベントなどはあるのか？	集客イベント	5	22	
222	今後の長寿社会を考えた場合、高齢者をはじめ、大人も楽しめるアミューズメントとしての側面が重要。柱4又は柱5にその辺りの記載を。	レクリエーション	5	22	レクリエーション施設としての役割も考慮し、来園者に満足いただける環境作りに努めてまいります。
223	動物の見せ方ふられる動物は今ではもちろんだが、その他の複合施設も重要だと思う。例えば、遊園地、カジノ、スーパー、京都の有名飲食店のフードコートなど。	レクリエーション	5	22	
224	エサやり体験をやってほしい。動物とふれあえるようにしてほしいです。	体験型イベント	5	22	動物福祉に配慮した体験型のイベントについて記載（『子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる体験型イベントの充実』を施策22（新構想本冊31ページ）に追記いたします）。

225	小動物とふれあう機会をもっと増やしてほしい。エサやりの機会も増やしてほしい。	体験型イベント	5	22	動物福祉に配慮した体験型のイベントについて記載（『子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる体験型イベントの充実』を施策22（新構想本冊31ページ）に追記いたします）。
226	ゾウやきりんなどにエサをあげるイベントがあると嬉しい。	体験型イベント	5	22	
227	子どもが参加できるものを多くつくってほしい。	体験型イベント	5	22	
228	いつでもエサをあげたい。	体験型イベント	5	22	
229	動物に乗ったりできたらいいな（小学1年生です）。	体験型イベント	5	22	
230	子どもが蛇が触りたいそう。	体験型イベント	5	22	
231	体験型なども増えればいいなと思う。	体験型イベント	5	22	
232	2歳後半から小学校に上がるまでの子ども達に有料で動物とふれあうツアーや定期開催で直感的に動物を怖いと感じないように勉強会のようなものを開催してほしい。	体験型イベント	5	22	
233	ハリネズミとふれあいたい。 うさぎと平日もふれあいたい。	ふれあい	5	22	動物福祉に配慮した体験型のイベントについて記載（『子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる体験型イベントの充実』を施策22（新構想本冊31ページ）に追記いたします）。
234	動物園としてお客さんをお呼びするために、種類を増やしたり数を集めることはとても大切だとは思ったが、いくら種類や数を増やしても見るだけでは人は飽きてくると思うので、動物と触れ合える動物園を目指していくべき。 安全面を十分考慮する事を前提で行うことができれば、人気が出るんじゃないかと思った。	ふれあい	5	22	
235	現在行われている動物のふれあいの時間（モルモット等）もあるが動物達の負担を考えて、止めるべきだと思う。	ふれあい	5	22	
236	動物と安全に触れ合える場をもっと増やしてみてもどうだろうかと思う。実際に動物とふれあい、その動物の性格や暮らしを理解することは学びに繋がると考える。	ふれあい	5	22	
237	いろんな動物に触れる。	ふれあい	5	22	
238	実際にふれあえるスペースを増やしてほしい。	ふれあい	5	22	
239	人とふれあえるスペースをもっとほしい。 ケープハイラックスの場所も暗い。	ふれあい	5	22	
240	普段触れられないような動物と触れあえる企画をつくってほしい。 そして、触った感想を共有できる環境をつくってほしい。	ふれあい	5	22	
241	ふれあいや体験を増やしてほしい。	ふれあい	5	22	
242	ふれあえる動物の種類を増やしてほしい。	ふれあい	5	22	
243	最近行く機会が無い。 3年ほど前に小学生の娘と行った時、ふれあいひろばで熱心にフンのそうじを楽しんでいた。ふれあうことは動物を抱いたり、撫でたりするだけでなく、お世話のできる体験が他にもできればと感じた。	ふれあい	5	22	
244	動物園の管理だけでなく、集客力を強めた方がいいと思います。水族館ならイルカショーなどのイメージが付いていますが、動物園はショーなどのイメージがあまりありません。ふれあい広場もいいと思いますが、何か固定されたショーのイメージが付けば、注目されるきっかけになるのではと思います。	ふれあい	5	22	
245	京都市動物園は、限られたスペースや限られた予算しかない事は理解できるが、地下を利用するか、立体建造物を建築して、展示エリアを立体にするとかの工夫をするべきではないか。	ハード整備	5	25	動物福祉の観点から課題のある「サルワールド」（サル島及び類人猿舎）をはじめとした園内動物舎について飼育展示の見直しと施設整備の検討を進めてまいります。
246	ゴリラ舎では、樹木などの植え込みがありますが、サル島はコンクリートのサル島や若干の遊び道具だけ、あまりにも殺風景です。せめて土の部分を作るとか、サル島に樹木を植えるとか、工夫した方が見学者も楽しいし、アカゲザル達も楽しいと思います。	ハード整備	5	25	
247	もうじゅうワールドのスペースが狭く、檻内をうろろしているのを見ると、もう少し檻の広さが広がると動物のストレスが少なくなるのではと思う。	ハード整備	5	25	
248	歴史のある動物園であるが、動物園としては狭いように思う。郊外へ移転してでも大きくしてほしい。	ハード整備	5	25	

249	大きな群れじゃなくてもオスメスの2頭くらいなら、あれだけのスペースがあれば飼育できるはず。他のエリアを削ってでも、もうじゅうワールドを拡張していくことが、京都市動物園の入場者数増に繋がると思う。	ハード整備	5	25	動物福祉の観点から課題のある「サルワールド」（サル島及び類人猿舎）をはじめとした園内動物舎について飼育展示の見直しと施設整備の検討を進めてまいります。
250	場所が狭くて動物が可愛そう。	ハード整備	5	25	
251	限られた敷地においていかに飼育環境をよくするかですが、もう少し動物が自由に動けるようにできないか。トラ、ジャガー、マンダリル、鳥類などなど。	ハード整備	5	25	
252	ゾウ舎において合計5頭の飼育空間としては手狭に感じる。周囲を囲われた状態での闘争は動物福祉の観点からも大きな問題である。例えば、寝室についても何か問題が起こった際等に使用するための予備室的な設備がないのが気になる。	ハード整備	5	25	
253	アムールトラの飼育環境については来園者の方々からも放飼場が狭くてかわいそう等の意見があると聞いている。広い敷地面積が必要となるが天王寺動物園の放飼場のようにモートを設置することにより檻のない環境が可能となるが、動物と観覧者との距離は広がる。	ハード整備	5	25	
254	アカゲザルの特に高齢の個体にとってコンクリートの上は夏は暑く冬は冷たいので、大変気になる。	ハード整備	5	25	
255	現在、のんほいパークやモンキーセンターではオスのみの群も飼育されているが、若オスが成長するにつれ、アルファオスとの対立や闘争が起こる可能性がある。そうなった場合、やむを得ず1頭ずつ分けて飼育することになるとしても、各個体が過ごす場所も福祉を踏まえた環境を整備していただきたい。	ハード整備	5	25	
256	サル島は残してほしい。子供たちの人気スポット。	ハード整備	5	25	
257	サル島に限らず、古い施設は動物福祉のために順次リニューアルを検討してほしい。	ハード整備	5	25	
258	何かの理由で個体を分けないといけない場合や、他園から新たな個体を迎える際のお見合い期間などに、室内のみに閉じ込めてしまう状態にするのは動物福祉に配慮しているとはいえない。	ハード整備	5	25	
259	将来的に採血や体重測定などのトレーニングに取り組みやすい構造に（大傘田市動物園、到津の森公園など、すでに取り組みされている園の関係者さんにアドバイスを求めている）。	ハード整備	5	25	
260	放飼場と寝室の出入りは既存と同じ様に平面移動で（高低差をつけると年老いた時に移動が困難に）。	ハード整備	5	25	
261	動物舎について。可能な限り土の地面が良い、植栽に取り組んでほしい（到津の森公園、のいち動物公園参照。植栽を絶やさないためにはある程度の敷地面積が必要だと思われる。到津くらいの広さと頭数では、植栽をキープし続けるにはかなりの労力が必要と思われる）、スロープ付きの広めの水場（プール）の確保、問題が起こりにくい排水。床暖完備、床暖にかぶる様に、雨がしのげる屋根（のんほいパーク参照）、流水タイプの水飲み器（空にならず、常に新鮮な水が供給される様に）、既存の櫓、日陰となる場所もほしい。	ハード整備	5	25	
262	サル島ですが、立体的な空間づくりで上、下から見たいです。	ハード整備	5	25	
263	本来、居る場所でない場所で動物達は暮らしているため、自然の切り取りをしているわけですから十分に動物にあった環境を整備していただきたい。	ハード整備	5	26	
264	動物達がストレスを受けにくいような展示を望む。ガラスやフラッシュ等注意書きはあるが、それを指示する人が近くに配置される方が効果的。	動物舎の改修	5	26	引き続き動物福祉に配慮した改修や施設の長寿命化に努めてまいります。
265	ジャガー舎も同様に手狭感がある（中2階的な構造にしてはどうか）。	動物舎の改修	5	26	
266	動物の元の住まいと同じような設備にし、動物がストレスを感じない工夫をしてほしい。	動物舎の改修	5	26	

267	ライオン舎とトラ舎をガラスにしたら安全。	動物舎の改修	5	26	引き続き動物福祉に配慮した改修や施設の長寿命化に努めてまいります。
268	施設の長寿命化（計画修繕）の実施、中長期的な目線で施設整備を検討。	動物舎の改修	5	26	
269	動物が逃げないように。安全に。	安全対策	5	27	今後より一層、園内の全ての人、動物の安全に十分に配慮した環境づくりを進めてまいります。
270	運動場の安全面について（限られたスペースでの安全性）シマウマの子供の死は狭い運動場での事故死だった。	安全対策	5	27	
271	楽しく安全に遊べるようにしてほしい。	安全対策	5	27	
272	安全対策について、引き続き敷地内禁煙でお願いしたい。職員向けの喫煙所がもしあるならそれも撤去いただきたい。	安全対策	5	27	
273	ふれあいスペースもありますが、人が多いことも多く、ヤギが高い所に登るとおりから逃げないか、ジャンプしたりするなどと感じることがあります。	安全対策	5	27	
274	収益性が低下していることが気になる。公共施設だから赤字でもよいというわけではなく、持続可能な施設運営としていくために、質を上げつつ、収益性も上げていく方策を検討いただきたい。	財源確保	5	27	
275	構想を策定するに際し、展示を廃止する動物も掲げられている中、全体の収支を明示すべき。持続可能な経営が前提となるべきなので、市税がいくら投入されていて、いつまでにそれをどのレベルにしていけるのかという側面が全く記載されていないのはどうか？	財源確保	5	27	
276	生物多様性の保全や、研究に力を入れた世界水準の動物園を目指していることは、素晴らしいが、そのための多額の費用や、柔軟で迅速な意思決定をするためには、市直営では難しい部分も多いのではないのか。民間資金の活用や、経営形態を改めて検討することも必要。	財源確保	5	27	
277	入場料をもう少し値上げして、大人800円から1000円に値上げする代わりに一日乗車券での優待割引や、年間パスを2000円にしたり、京都水族館との共通入場券や年間パスの発売、障がい者や敬老者の入場料を無料から、半額負担にし、年間パスも半額してはどうか。入場料を値上げする代わりに、施設面の充実や動物園の維持費に充ててほしい。	財源確保	5	27	
278	天王寺のように客のV字回復ばかりにとらわれると動物愛護を忘れ、あつという間に信頼を失う。子供が多いですが入場料100円でもよいので取ったり、グッズ増やしたりして収益を上げ動物環境や研究に使ってほしい。クラウドファンディングも可。京都市動物園はファンが多い。これからも日本を代表して、世界へ発信する動物園であってほしいです。	財源確保	5	27	
279	それには土地を増やし飼える動物を増やすのも一つの案だと思うがそれには人員や多額のお金が必要となるので難しい。	財源確保	5	27	

3. その他意見等

番号	内容	分類	柱	施策	御意見に対する考え方
280	死んでしまった動物をお墓に入れるところを見れるようにしてほしい。	意見			いただいた御意見を参考に、よりよい動物園になるように取り組んでまいります。
281	「サルのお勉強のお話」を聞いたが電気もついていない暗いお勉強部屋の前で写真をもって話をされていた。勉強部屋の前まで行くなら電気をつけて中の構造を見たかった。	意見			
282	現在地は手狭に感じる。相当の土地が必要であるため京都市立芸術大学が駅前に移転となる西京区の跡地に移転してはどうか。	意見			
283	飼育員さんにファンが付くようにしてほしい。飼育員さん目当てで動物園に行くように、話題も含めて。制服は良くなっているのですが、長靴はみっともない。他の動物園などでは格好のよい長靴を履いているのに、京都市動物園の飼育員さんの履いている長靴はひどすぎ。オシャレなロングブーツを支給してあげてほしい。	意見			

284	前ゾウ舎の額は永久に残してほしい。京都市動物園の特徴を持たせてほしい。	意見			いただいた御意見を参考に、よりよい動物園になるように取り組んでまいります。
285	京都市動物園の特徴である町中の動物園、近くて楽しい動物園の特徴は大切にしてほしい。	意見			
286	きれいになった。見やすかった。	感想			
287	色々な動物がいてとても楽しい。これからもまた行く。	感想			本構想に掲げた理念の実現に向け、5つの柱と27の施策を進めていくことで、確実により良い動物園を作り上げていくことができると考えております。今後も引き続き、皆様に愛される動物園になれるようしっかりと取り組んでまいります。
288	見学しやすくなった。	感想			
289	子どもが小さい頃行ったきりだったが、リニューアルされてきれいになり時々行く。動物好きなので、年を取ってからも楽しい。	感想			
290	きれいになった。見やすかった。70歳以上で無料なのでよい。	感想			
291	皆が楽しい動物園にしてほしい。	感想			
292	楽しい人生が過ごせる場であるようになってほしい。	感想			
293	策定案には意見はない。子どもと何度か来園しているが、こじんまりして、清潔で、動物が近くて、いつも楽しませてもらって、心地よく感じている。また、研究等にも力を入れられているのを感じ、心強く思う。	感想			
294	京都市動物園は上野動物園に続いて2番目にできたと聞いている。歴史があり、いっぱい詰まっているので、これからも応援したい。	感想		-	
295	2015年のグランドオープン後に中学生以下の団体入園者が増加していることが分かった。	感想			
296	活動テーマ「よりよい京都市民を目指して」の一環として、市民によって作られたこの京都市動物園をもっと良くしていくには？というのを小学校3年、4年生が考え、応募した。	感想			
297	ニュースで知り今日、ナイルらを見にきた。少し久しぶりに来たので（前は4年くらい）その時は元気な様子。調整種5種が一生懸命生きてる限り大切に見守っていききたい。これからも動物園を応援します。	感想			
298	ナイルの持前の強い生命力も、それを担当者が的確に活かしているからこそその長寿命日本記録だと思っている。	感想			
299	美都ちゃんがグランドに出られなくなった時のことであるが、2年前後の中でスタッフさん関係者の皆さんが工夫していただき、根気よく見守り続けてくださった経緯に感動。最近では、美都ちゃんの紙しばいに涙し、スタッフさんに感謝の気持ちでいっぱいになった。京都市動物園の方を誇らしく思った。これからの10年新構想案をまとめられ、前進して行われる中で、もしも想定外の事が生じた折には、その時々柔軟性を持って向き合ってもらえる動物園であることを願う。	感想			
300	どうか命を育み、育てて行われる動物園であり続けていただきたい。まず、スタッフさんの安全が大切。そして、人間の都合で京都市動物園に来てくれた動物一頭一頭が、しあわせに命をまっとうできますように願う。	感想			
301	京都は特にいろんな国の方たちが来られる街である。国によっては弱った生き物は安楽死をすすめられる文化があると聞いたことがある。ナイル君のオリの前に書かれた文章に共感した。とても嬉しく思った。	感想			
302	ライオンだけではなく、全ての動物についても徐々に同様の対応をお願いしたいと思う。日本から、世界から、動物園がなくなることを切に願う。動物園だけではなく、動物に芸をさせるサーカスも、水族館も、ペットショップも、一掃されてほしい。畜産も同様。方向転換すらできないケージに生涯閉じ込められる豚のことを知らない人間が多すぎ。	感想			
303	驚くべきことに、新しい「京都市動物園構想」では、「動物福祉」という言葉が使われており、それだけでも光が差したように感じる。「動物が生きる環境について見直し、人間のエゴで動物から本来の生命の輝きを奪ってはいけない」という意志を感じた。	感想			
304	先日友達と有機農園の食事と動物を見に行き、昔子どもたちと行った時を思い出し、75歳の今、子どもたちが大人になった今の毎日を楽しみに生きている。	感想			
305	ゴリラの移動は命懸けであり容易ではない。ましてやゲンタロウのように人工保育の子どもは心のケアも必要（それはゴリラをヒト化するという事とは違う）。できるなら国内のゴリラを集めて専門員を増やして欲しい。これからもどんな有識者よりも動物のことを一番理解している飼育員の動物ファーストな意見を1番大切にしていきたい。	感想			